

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 避難所生活環境確保事業費補助金（新型コロナ対策）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

危機管理部 防災課 地域支援係 電話番号：058-272-1111（内 2746）

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 100,000 千円（前年度予算額 130,000 千円）

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	130,000	0	0	0	0	0	0	0	130,000
要求額	100,000	0	0	0	0	0	0	0	100,000
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

県内市町村における指定避難所は、計 1,986 箇所（R3.3.31 時点）である。

新型コロナウイルス感染症が収束の様相を未だ見せない中、引き続き避難所における感染症対策が必須である。令和2年度に策定した避難所運営ガイドライン新型コロナウイルス感染症対策編に基づき、避難所環境の整備を充実させる必要がある。特に避難所の感染症対策資機材の整備経費と、指定避難所以外の避難先としてホテルや旅館等施設を利用した場合の経費については財政負担が大きいため県が助成する必要がある。また、当該施設を避難所として使用する為に必要な資機材を整備するための経費を補助する。

（2）事業内容

【新型コロナウイルス感染症対策資機材配備】

市町村が行う、避難所（指定避難所以外の民間施設等も含む）の新型コロナウイルス感染症対策に必要な資機材の購入経費を助成する。

補 助 率：1 / 2

補 助 額：70,000 千円

（資機材の例）

パーティション（高さ2m程度）、消毒液、マスク、非接触型体温計

【分散避難対策（ホテル等活用）】

新型コロナウイルス感染症禍においては、避難所のレイアウトは前後左右に2m以上の間隔を確保する必要があり、これまでの想定収容人数と比べ約4割程度となる。

避難の検討においては、ホテルや旅館を活用した分散型避難の検討も必要がある。

このため、災害救助法の適用外となった市町村に対し、高齢者等の要配慮者がホテルや旅館に宿泊した場合の借上げ経費を助成する。

補助率：1／2

補助額：30,000千円

（3）県負担・補助率の考え方

指定避難所の資機材確保は、市町村の財政負担が理由で進まない側面がある。また、ホテル等の宿泊施設の活用についても、同様に財政負担が大きく活用が進まないため、県の負担は妥当である。

近県の状況は以下4（1）のとおりであり、補助率は妥当である。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
資機材調達	70,000	災害時における住民の避難生活環境を確保するため、市町村が行う新型コロナウイルス感染症対策に必要な資機材等を購入する経費
ホテル補助	30,000	災害救助法の適用外となった市町村に対し、高齢者等の要配慮者がホテルや旅館に宿泊した経費
合計	100,000	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）国・他県の状況

他県の状況は以下のとおりである。（R3年度）

【愛知県】

南海トラフ地震対策事業における災害時要配慮者避難生活支援事業
(補助率 1/3 以内、補助基準額 20,000 千円／市町村) ※複数事業含む

【三重県】

地域減災力強化推進補助金における多様性に配慮した避難所運営促進事業
(補助率 1/2 以内、補助基準額 3,000 千円／市町村)

【静岡県】

緊急地震・津波対策減災交付金事業
(補助率 1/2 以内、補助基準額 30,000 千円／市町村)

県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	避難所生活環境確保事業費
補助事業者（団体）	市町村 (理由) 避難所を開設するのは市町村のため
補助事業の概要	(目的) 避難所の新型コロナウイルス感染症対策 (内容) 市町村が行う避難所の資機材（コロナ対策）の購入経費及びホテル等を避難所とした活用した場合の借上費用に対する助成
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) 補助率 県 1 / 2、市町村 1 / 2 (理由) 市町村を支援する事業であるため
補助効果	避難所の新型コロナウイルス感染防止対策
終期の設定	終期令和 4 年度 (理由) 新型コロナウイルス感染症が収束するまで（十分な資機材整備が完了するまで）の間継続する。

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか 避難所の新型コロナウイルス感染症対策の資機材が整う。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前	R2 年度	R3 年度	R4 年度	終期目標	達成率
	(R)	実績	目標	目標	(R)	
①						%
②						%

	H30 年度	R 元年度	R2 年度
補助金交付実績	— 千円	— 千円	193,537 千円

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> 取組内容と成果を記載してください。 市町村における避難所の新型コロナウイルス感染症対策に必要な資機材の購入を助成し、避難所の感染症対策を支援した。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	新型コロナウイルス感染症に対する警戒が継続する状況において、避難所を開設することとなった際には、集団感染を発生させない十分な新型コロナウイルス感染症対策が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり (単年度目標 100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり (単年度目標 100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない (単年度目標 50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない (単年度目標 50%未満) 	
(評価) 2	令和2年7月豪雨及び令和3年8月の大雨において、開設された全避難所において、新型コロナウイルス感染症対策が実施されている。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	市町村へ要望調査を実施したうえで内示を行いニーズに対して効率よく交付決定している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 変異した新型コロナウイルスによる感染が懸念されており、避難所においても感染症対策を継続していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、避難所の新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。
